

1960 - 1969

出来事

- 1960年 188cm反射望遠鏡、ドーム完成(3月)
1960年 188cm反射望遠鏡イギリスから到着(4月)
1960年 91cm反射望遠鏡、ドーム完成(7月)
1960年 188cm反射望遠鏡据え付け完了。10月19日開所式挙行。予備観測開始(10月)...図1-4
1961年 第1回観測プログラム協議会を開催(12月)
1961年 本館完成(3月)
1962年 188cm反射望遠鏡、91cm反射望遠鏡本観測開始(4月)
1962年 昭和天皇、皇后両陛下下行幸啓(10月)...図1-6
1962年 岡山国民体育大会 採火(10月)...図1-7
1963年 観測所西方から出火(3月・約70ヘクタール焼失、火線が600mまで接近。近隣市町村消防団、自衛隊により鎮火)
1965年 65cmクーデ型太陽望遠鏡の建設開始...図1-11
1965年 池谷・関彗星、近日点通過(10月)
...図1-10
1966年 X線星の世界最初の光学発見(6月)
...図1-9
1968年 常陸宮、同妃殿下が岡山天体物理観測所を視察(5月)
...図1-8



図1-5 東京天文台岡山天体物理観測所開所記念切手(1960年)

188cm反射望遠鏡

- 1960年 Q、G分光器(P74)使用開始(カセグレン焦点、~1972、~1979)
1960年 写真直接撮像カメラ(P73)使用開始(ニュートン焦点、~1999)
1962年 F/4、F/10分光器(P79)使用開始(クーデ焦点、~1989)
1963年 星雲分光器(P73)使用開始(ニュートン焦点、~1965)
1963年 エシエル分光器(P79)使用開始(クーデ焦点、~1965)
1967年 40mm映像増幅管(. . .)P80)カーネギーより貸与。クーデ分光器に装着。使用開始(~1990)
1969年 . . .分光器(P75)使用開始(カセグレン焦点、~1989)

91cm反射望遠鏡

- 1961年 光電測光器・1号機(P88)使用開始(~1966)
1962年 グレーティングスキャン分光器・1号機(P88)使用開始(~1969)
1966年 光電測光器・2号機(P88)使用開始(~1979)
1967年 Z分光器(P89)使用開始(~現在に至る)

65cmクーデ型太陽望遠鏡

- 1969年 クーデ分光器(P91)使用開始

測定装置

- 1962年 スペクトル比較測定器使用開始(~1984)
1963年 写真濃度測定器使用開始(~1975)
1963年 自記マイクロフォトメーター使用開始(~1975)

図1 - 6
昭和天皇、皇后両陛下下行幸啓
(1962年)



採火中の石田五郎副所長



図1 - 7
国民体育大会採火式(1962年)
大阪工業試験所から貸与された
シュミット望遠鏡を使用した

図1 - 8
常陸宮ご夫妻、岡山観測所を視察
65cmクーデ型太陽望遠鏡にて
(1968年)



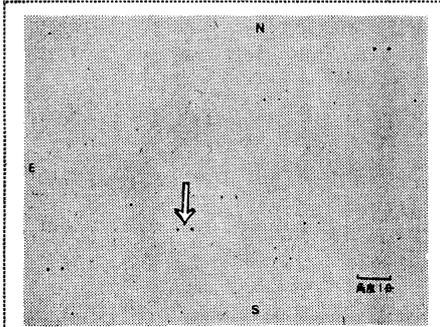
新天体「エクスター」

超高温のエクスター線星

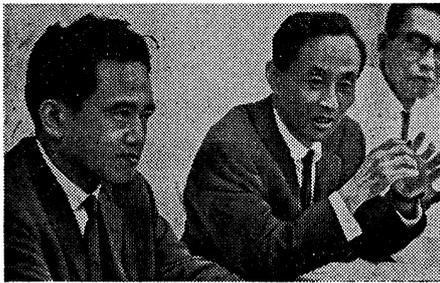
日米協力 岡山観測所で発見

東京天文台、東大宇宙航空研究所は一日午後五時、文部省「こゝろ」で、岡山観測所からエクスター線星が出ているのをキャッチして、宇宙に存在する超高温の天体の存在を確認した。この天体は、岡山観測所の二の光学望遠鏡が発見し、これを「エクスター」(EXTAR)と命名した。エクスターの存在は、アメリカの「パロマー」天文台でも確認し、岡山天文台もその存在を確認、エクスター線星の位置も決定した。

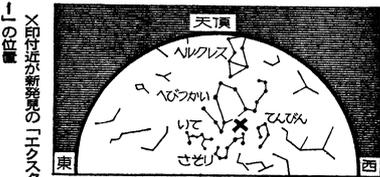
宇宙科学に新紀元 サソリ座の12等星



エクスターをとらえる はじめ紫外線フィルター、つぎに乾板を少しずらして青色用フィルターをかけて露出したエクスター。右の像が紫外線、左が青色による画像で、一般の星は青色が強いが、エクスターは逆。



天体の新発見について発表する大沢、小田、同教授



最近の天文学は光望遠鏡の観測によるもので、エクスター線星は、サソリ座の12等星として発見された。エクスター線星は、岡山観測所小田教授が発見した。この発見は、宇宙科学に新紀元を開いた。エクスター線星は、超高温の天体で、その温度は約100万度と推定されている。この発見は、宇宙の形成や進化に関する重要な手がかりを提供する。

エクスター線星は、超高温の天体で、その温度は約100万度と推定されている。この発見は、宇宙の形成や進化に関する重要な手がかりを提供する。岡山観測所は、日米協力の成果として、この重要な発見を遂げた。この発見は、宇宙科学の発展に大きく貢献した。エクスター線星の発見は、宇宙の奥深い秘密を解き明かすための重要な一歩である。

図1-9 X線星の光学発見を報じる記事(読売新聞 1966年9月2日)

さそり座 X線源 Sco-Xに対応する光学天体を188cm反射望遠鏡で紫外フィルターと青フィルターを使い位置だけ少しずらして二重露出させる方法で発見した。91cm反射望遠鏡の光電測光と188cm反射望遠鏡の分光写真でX線星であることを確認した



図1 - 10 池谷・関彗星と188cm反射望遠鏡ドーム（1965年11月）



図1 - 11 65cmクーデ型太陽望遠鏡の建設（1965年）